令和 6 年 9 月
大 東 市 議 会
定 例 月 議 会 議 案

条 例 新 旧 対 照 表
【 当 初 追 加 】

議案第74号

大東市国民健康保険条例 新旧対照表

新
第1条 ～ 第37条 (略) (徴収猶予)
第38条 市長は、次の各号のいずれかに該当することにより、保険料の納付義務者が納付すべき保険料の全部又は一部を一時に納付することができないと認める場合においては、その申請によって、その納付することができないと認められる金額を限度として、6か月以内の期間 <u>(ただし、急患等として保険医療機関又は保険薬局を受診した被保険者に係る保険料の納付については、1年を限度として資力の活用が可能となるまでの期間)</u> を限って、徴収の猶予をすることができる。
(1) ～ (4) (略)
2 (略)
第39条 ～ 第43条 (略)
第44条 市は、世帯主が法第9条第1項若しくは <u>第5項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をした場合</u> においては、その者に対し、100,000円以下の過料を科する。
第45条 ～ 第47条 (略)

主要改正点

- ・国民健康保険法の改正により、被保険者証が発行されなくなることに伴い、条文中の文言を整理したこと。

旧
第1条 ～ 第37条 (略) (徴収猶予)
第38条 市長は、次の各号のいずれかに該当することにより、保険料の納付義務者が納付すべき保険料の全部又は一部を一時に納付することができないと認める場合においては、その申請によって、その納付することができないと認められる金額を限度として、6か月以内の期間を限って、徴収の猶予をすることができる。
(1) ～ (4) (略)
2 (略)
第39条 ～ 第43条 (略)
第44条 市は、世帯主が法第9条第1項若しくは <u>第9項の規定による届出をせず、若しくは虚偽の届出をした場合又は同条第3項若しくは第4項の規定により被保険者証の返還を求められてこれに応じない場合</u> においては、その者に対し、100,000円以下の過料を科する。
第45条 ～ 第47条 (略)

印刷物番号

6 - 4 3